

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 東洋史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ (東洋史 専攻分野)

I

以下の中国古典文（A）（B）につき、（1）貸与された赤鉛筆を用いて句読（、。）を切り、（2）現代日本語または現代中国語に訳せ（赤鉛筆は句読を切るときのみ使用）。

(A)

開皇三年正月帝入新宮初令軍人以二十一成丁減十
二番每歲爲二十日役減調絹一疋爲二丈先是尚依周
末之弊官置酒坊收利鹽池鹽井皆禁百姓採用至是罷
酒坊通鹽池鹽井與百姓共之遠近大悅是時突厥犯塞
吐谷渾寇邊軍旅數起轉輸勞敝帝乃令朔州總管趙仲
平三十八 李元 隋書三十四 十一
卿於長城以北大興屯田以實塞下又於河西勸百姓立
堡營田積穀京師置常平監是時山東尚承齊俗機巧姦
僞避役惰遊者十六七四方疲人咸詐老詐小規免租賦
高祖令州縣大索貌閱戶口不實者正長遠配而又開相
糾之科大功已下兼令析籍各爲戶頭以防隱於是計
帳進四十四萬三千丁新附一百六十四萬二千五百口
高祖又以人間課輸雖有定分年常徵納除注恒多長吏
肆情支帳出沒復無定簿難以推校乃爲輸籍定樣請編
下諸州每年正月五日縣令巡人各隨便近五黨三黨共
爲團依據定戶上下帝從之自是姦無所容矣

(『隋書』食貨志より)

受験記号番号

2 / 5

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

(B)

三法司曰刑部都察院大理寺刑部受天下刑名都察院糾察大理寺駁正太祖嘗曰凡有大獄當面訊防構陷鍛鍊之弊故其時重案多親鞫不委法司洪武十四年命刑部聽兩造之詞議定入奏既奏錄所下旨送四輔官諫院官給事中覆覈無異然後覆奏行之有疑獄則四輔官封駁之踰年四輔官罷乃命議獄者一歸於

明史卷九十四 志 一

三法司十六年命刑部尚書開濟等議定五六月旬時三審五覆之法十七年建三法司於太平門外鍾山之陰命之曰貫城下敕言貫索七星如貫珠環而成象名天牢中虛則刑平官無邪私故獄無囚人貫內空中有星或數枚者卽刑繁刑官非其人有星而明爲貴人無罪而獄今法天道置法司爾諸司其各慎乃事法天道行之令貫索中虛庶不負朕肇建之意又諭法司官布政按察司所擬刑名其間人命重獄具奏轉達刑部都察院叅考大理寺詳擬著爲令

(『明史』刑法志より)

受験記号番号

4 / 5

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

II

(1) ～ (5) につき、知る所を簡潔に述べよ。(日本語で述べよ。)

(1) 推恩の令

(2) 沙陀

(3) 『周官新義』

(4) 上帝会

(5) 前田直典